

# みこむだこ

旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会

〒140-0001 品川区北品川2-2-10 TEL 03-3472-4772

URL <http://www.japan-city.com/sina/>

## 恭賀新年

会長 堀江 新三

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

おかげさまで旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会は、本年で実質活動20周年の節目を迎えます。これも偏に会員各位及び関係者各位の多大なるご理解とご協力の賜と、心から御礼申し上げます。

さて昨年は、品川宿や周辺の修景事業が進み、形になって見えはじめる年としてご挨拶させていただきました。そして引き続き品川宿の修景事業・石畳事業・電線地中化等に関し、品川区と地元町会・商店街とのパイプ役となり、調整を行ってきました。また、地域の皆様にお声がけをし、「修景まちづくり会議」を開催してまいりました。

そして昨年11月には、八ツ山アンダーパスが開通、周辺の修景事業も完成し、品川宿の入口にふさわしい修景が出来上がりました。

しかし何といっても昨年の特筆すべき出来事は、品川区の全面的なご尽力のもとに、積年の夢であったまちづくりの拠点(北品川二丁目 ミカド跡)を確保できたことです。これも会員各位の長年のご協力により、20年間にわたり粘り強く活動を続けてきた結果と、心

より御礼申し上げます。

本年はこの活動拠点を最大限に生かし、品川宿や周辺の情報発信はもちろんのこと、東海道各宿との交流を含め、様々な分野で活用していきたいと考えております。

このような動きを受け、しながわ観光協会が昨年9月より、土・日・祝日に、北品川の「あぶりや連」の店先をお借りし、しながわ観光案内所を開設しております。また、北品川地区では三商店街の若手が中心となり、日・祝日に閉まっている店を開けていきっけにしたいとの想いから、北品川本通り商店会事務所を借用して「品川宿お土産処」を開店(土・日・祝日のみ営業)した他、三商店街で使用できる地域通貨「品川宿小判」の発行、「品川宿謎解きラリー(1月末まで開催中)」の開催、と活発な活動が始まったことを大変喜ばしく思っております。

私どもまちづくり協議会は、本年も引き続き品川宿がハード・ソフトの両面で大きく変わる年と位置づけ、まちづくり活動に全力で取り組んでまいり所存です。皆様方におかれましても、本年も昨年同様、品川宿再生に向けての多大なるお力添えを賜りますよう、切にお願いを申し上げる次第です。

### 待望の活動拠点ができます！

積年の夢であった、まちづくり活動の拠点がいよいよ誕生します。場所は品川橋に近い北品川

2-28-19、南・北品川宿のほぼ中間に位置する最高の立地です。建物は既存のコンクリート造4階建。面



修景後のまちなみイメージ

積は1階が16坪、2〜4階が21坪と、ちょうど使いやすい広さです。これは品川区が昨年夏に取得した物件で、現時点では、その改築や活用方法などについて区との間で協議を進めている最中ですが、本年の9月にはオープンしたいと考えています。運営委員会では今、この拠点を中心に「人」、「物」、「文化」、「情報」が活発に行き交う「品川宿交流館」といった方向で活用・運営のプランを練っています。そこで会員の皆様からも楽しいアイデア、ユニークな活用方法などをぜひぜひ、お寄せいただきたいと思います。

『東海道五十三次～ユビキタス計画～』  
街路灯に多目的『情報配信プレート』を設置



街路灯に設置された「情報配信プレート」

旧東海道品川宿周辺エリアの街路灯に多目的な「情報配信プレート」を設置しました。プレートのQRコードをカメラ付き携帯電話で読み取り、宿場内の史跡案内や商店街のイベントに関する情報を配信しています。

このプレートには、ユビキタスコンピューティングという世界で注目を浴びている技術を採用。そのとき必要な情報が「いつでも、どこでも、だれでも」自由に得られ、また変化する状況を判断し適切な情報を周囲に提供する事が出来ます。現在は、北品川から南品川までの旧東海道沿い約2kmにある各商店街の街路灯120本に設置し四つのエリアに分けて史跡や名所を写真付きで紹介しています。

9月の宿場まつりでは、イベントプログラムや菖くじの抽選結果を遠隔配信したり、各商店街のイベント情報を配信しました。



プレートの利用風景

このプレートには、QRコードのほかにもICチップが埋め込まれていて、専用端末を利用すると動画や音声で各種情報を楽しく得ることが出来ます。現在は、しながわ宿場まつり/かっぱ祭り/三島宿場まつり/大磯宿場まつり/箱根宿場紹介などを試行的に動画配信しています。

今後は、まちを利用する人々や商店街の方々のアイデアを採用して、人に優しい情報を配信していくと共に、未来の宿場まちを創造して行きたいと思えます。

小島 忠

三島・大磯宿場祭

11月3日早朝7時に藤森海苔店で昨年より多くの品川海苔を手に積み込み鈴木さんのオープンカーを先頭に協議会のメンバーでいざ三島を目指しました。昨年同様見事なお祭り日和。これは三島宿・大磯宿の皆さんの日頃の行いが良いのか？はたまた我々品川宿メンバーの日頃の行いが悪いのか？をたずねて考えつつ順調に現地入り。三島の皆さんの温かい歓迎を受け品川宿特等席へ誘導いただいた。三島宿は当日七五三で賑わう三島大社へ繋がる立派な商店街となっており大勢の来客の期待が高まる中、映画「てれすこ」の宣伝用ポスターも掲げて準備完了。いざ恒例の品川海苔の販売開始！と同時に品川宿協議会メンバーは同時に品川仕込の売上に貢献。威勢の良さや海苔の試食を売りに快調に売上を伸ばしていく。名物の三宅さんのサフラン売り口上との相乗効果も気がつけば予定を上回る売上で三島の販売終了、意気揚々と大磯へ移動した。



大磯到着後、大磯のお稲荷さんゆかりの名物居酒屋で翌日の売売を目指し英気を養った。旧東海道大磯宿は海岸沿いの普通の住宅街で年々重なる松が当時の様子を彷彿させており、聞くところでは当時はそこから大磯プリンスホテルまでの約3~4km程が宿場町となっていたらしい。前日同様、大磯の皆さんの温かい歓迎を受け特等席に誘導いただき販売開始。藤森海苔店の店主藤森さん、さらに平野さんが加わりまさに「プロの技」であつという間に販売しました。今回初参加で感じたことは品川海苔がとってもおいしく、三島・大磯のたくさんの方々も品川宿の海苔販売を楽しみに待っていてくれたこと。試食したお客さんから「おいしいねえ、これ品川で作ってるの？」と何度か聞かれました。当時のようにまた品川で海苔が作れたら素晴らしいなあと思つて品川への帰途につきました。

中嶋 政文

「景観まちづくり会議」の開催

平成18年から始まった旧東海道品川宿周辺をモデル地区にした景観地区指定の地域研究会2年目がスタート。昨年6回の会議で北品川、南品川、鮎瀬、立金川などでまちづくり活動されている有志の方々が、旧東海道宿周辺の景観について多くの意見を寄せ合いました。東海道だけでなく、品川は水辺こそ景観にとって重要なんだとの意見が大勢から出されました。

それを受けて、今年度は論点を絞って、各回テーマを設定し、より突っ込んだ議論を開催してきました。9月3日は今年度内にまとめる景観基本構想についての論点の整理。10月23日は「水辺の景観について」。11月27日は「路地の景観について」それぞれテーマに関心のあるまちづくり協議会、運河ルネサンス協議会、勝島運河クラブ、町会、商店会など多数参加され熱い議論がかわされました。

我々協議会はこの会議を通じて、次代の「まちづくりリーダー」を養成していくことを目標にしています。そして、この1年まちづくりに関心のある若い人が、まちづくり協議会に多数参加してきて、世代、キャリアの層が厚くなってきたことが実感されます。

又、この1年を改めて振り返ると、旧東海道筋に、従来に無い11階~13階の高層マンションの建設が始まり、周辺環境や景観に著しい影響が出てきています。一方、不規則な高層マンションの建設を危惧する住民による「町並み整備の運動」が成果を上げつつあります。南品川3丁目の旧東海道に面する地域住民による高さ制限のための地区計画（都市計画制限）が実現いたします。この運動を広く進めることが「景観まちづくり」の目標でもあり、町会、商店会、地域住民に議論を広めて行くことが緊急の課題となってきました。

新美 正義



憧れの東海道シンポジウム

♪東海道シンポジウムとは

1988年に開催された第1回土山宿大会(滋賀県)、第2回品川宿大会から数え2007年11月10日・11日に記念すべき第20回大会が東海道最大の難所と言われた箱根宿(神奈川県)で開催されました。

大会では東海道沿道の各宿場のみならず、一堂に会し、東海道が結ぶ人・物・文化の交流を図り、これからの道づくり、街づくり、ひいては人づくりの一助となることを期待して毎年開催されています。

♪運営委員3年目にして初めての参加  
2005年10月に初めて運営委員会に出席させていただいてから翌年2年、ようやく東海道五十三次担当役員のお許しが出て、初めて参加させていただきました。(実はその前週は三島・大磯宿場まつりも)

♪第20回箱根宿大会

6時に冷たい小雨の降る中を平野さん前に集合し高道をぶっ飛ばして一路箱根宿へ。今大会は堀江会長が実行委員長を務められる関係もあり会場設営係としては朝食も当然車中(ノー、プロブレム)、会場の箱根小学校はとても素敵な杉並木のある丘の上でした。

13時、堀江実行委員長の開会宣言で始まったシンポジウムですが、総合司会はボキャブラ天国のBOOMER 河田さん、基調講演は往年の美人女優浜美枝さんという豪華顔ぶれ、いやー、盛り上がりますなあ。

堀江会長はじめ担当された役員のみならず、本にお疲れさまでした。来年こそはお役に立てるようにがんばります。(べこり) 佐々木 俊也



## ハツ山アンダーパス開通

品川駅東口再開発に伴い工事が進められていたハツ山アンダーパス。大規模再開発が進められる中、発生交通の増大の究極的な処理策として工事が進められていたアンダーパスが、再開発完了後4年にしてやっと開通いたしました。これまで10年余に渡り、再開発による大量の発生交通が北品川旧東海道筋に入り込み、住民、商店に多大の迷惑を掛けてきましたが、10月27日、雨の中、ひっそりと開通式が行われました。開通後1週間もすると、久しぶりに北品川旧東海道筋に静けさが戻ってきました。

まちづくり協議会としては、周辺に出来るオープンスペースに、東海道品川宿入り口にふさわしい景観と、祭りの神輿徒御に支障の無いような施設作りを求めて交渉を重ね、国土交通省、国鉄精算事業団、品川区などのご協力を得て、実現して戴きました。街道の入り口にふさわしい品川宿の観光案内板、街歩きのひと時に休息できる施設、「従是南 品川宿 地内」の傍示杭など、江戸情緒の施設に取り囲まれた広場が設けられました。又工事中取り払われていた東海道53宿の石杭も街道松の植栽とともに復元されました。

完成後この広場で記念撮影を撮っている人も見かけるなど、時間が経つほどに多くの来訪者に親しまれることが期待されます。

新実 正義

品川宿入り口の傍示杭



お休み所と案内板



整備されたアンダーパス



## 第17回しながわ宿場まつり

今年で17回を迎える宿場まつりが9月29日(土)、30日(日)に開催されました。29日の前夜祭は、雨で多少バラつきましたが、品海公園、聖蹟公園を中心に模擬店、てんぷら盛り合わせ、島田宿からはお茶と独特のおでんが出店され、皆さんに喜ばれていました。特設ステージでは和太鼓、大道芸、歌手の方々により盛り上がりしました。

いよいよ本番、30日はあいにく明け方から雨が降り続き、実行できるかの判断を協議しなくてはならないくらいでしたが、本来、雨が降ると楽器の関係で参加が難しい品川女子学院のマーチングバンドの先生から「準備をしている最中です」との連絡が入り、迷わず実行を決定しました。



街の中も雨対策に大忙しでしたが、扮装の皆さんも次々と準備が整い、11時半にはハツ山の集合場所に集まってこられ、いよいよパレードの出発の挨拶です。今年は濱野品川区長が徳川吉宗、山田副区長がおぎんに、他の方々も幕れん坊將軍のそれぞれの役になってもらいました。そして1日署長はアイドリングという女性9人の方々です。1日署長の周りにはカメラを持ったファンでいっぱいでしたが、雨の中、無事パレードも終り、聖蹟公園での出し物、大抽選会も滞りなく進み、ホテル村では今年、日本一に輝いたラフォーレの方の見事な氷彫刻が実演され、サクセス通りではマグロの解体ショーも行われました。

終りは雨にぬれたテント、用具などかたづけはいつもの3倍の時間がかかりましたが、無事に済んでよかった安堵感でいっぱいでした。今年も皆さんの沢山の協力があり、無事に終わりましたが、特に品川女子学院の皆さんには頭が下がる思いで、継続あつてのことと意を新たに、次回18回もよりいっそう良くしようと思っています。

川井 寛次